

会報

第97号

平成20年9月1日
新潟県特別支援教育研究会
事務局：新潟市中央区
白山浦1-207-3
新潟市立鏡淵小学校内
発行：文久堂

見えてきた特別支援教育二年目の課題



新潟県特別支援教育研究会 会長

吉田 俊雄

特殊教育から特別支援教育に転換して2年目を迎えた。

小・中学校では特別な支援を必要とする子どもの教育をコーディネーターを中心として全校体制で推進している。しかし、特別支援教育をさらに充実していくための課題も多く、困難を抱えている学校の実状も見えてきた。

全国連合小学校長会二〇〇七年度の特別支援教育の実態調査によると、公立小学校の9割に特別支援教育を必要とする子どもがいる中で、特別支援学級や通級指導教室を活用している学校は2割しかない。また、通常学級に在籍している発達障がい児などの教育を推進する上での課題として、①指導できる人材がいらない50%。②指導内容・方法が分からない32%。③

保護者の強い要望で在籍している児童への対応22%。以下、理解啓発、施設設備の不備等が挙げられている。

特別支援学校においては、これまでの養護学校から特別支援学校に変わり、複数の障害種別に応じた教育を行うことができるようになった。さらに、地域のセンター的機能をも担うことになった。それにより特別支援学校では、昨年度から就学・教育相談、発達検査、幼小中学校への特別支援教育の研修等の講師の依頼等が増加している。ただ、発達障がいへの支援に限定すると、これまでの養護学校では、発達障がいについての指導事例の蓄積が少ないため十分な支援ができていないのが実状である。これらの実状を踏まえ、次の4

- ① 点について、改善が急がれる。
- ② すべての教師は、特別支援教育の基礎的な知識をもつこと。
- ③ 幼小中学校と特別支援学校は具体的な事例をとおして継続的な連携を図ること。
- ④ 特別支援学校はセンター的機能を一層発揮するために、複数の障害種にわたる専門性を身に付けること。

④ 特別支援教育コーディネーターを専任とすること。

これらは各校の実状により、自助努力してよい方向へもつていく・関係諸機関へ働きかける・特別支援学校と連携する、等の事柄に分け、総合的に特別支援教育の充実を図っていくことが大切である。

平成20年度文部科学省は、「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」を拡充し、地域における支援体制構築へ動き出した。各校にはこの事業の特徴を理解し、積極的な活用を期待している。

今年度も、県特支研の事業である各地区研究大会、各研究部研修会等が開催される。ここでは、教師の指導力を向上させる場として積極的に事例を紹介し合い、自校の子どもへの指導に生かしてほしいと切に願っている。

| | |
|-----|-------------------------------------|
| 五月 | 第一回理事評議委員会 |
| 七月 | 各研究部研修予定集約 言語・難聴部総会(三十日) |
| 八月 | 関ブ口群馬大会(五日) 情緒障害部担当者研修(八日) |
| 九月 | 上越地区特別支援教育研究大会 上越南部大会(二二日) |
| 十月 | 会報97号発行 病虚弱・肢体不自由部研修(十五日) |
| 十一月 | 全特連全国大会京都市大会(二十九日～三十一日) |
| 十一月 | 中越地区特別支援教育研究大会 長岡大会(二〇日) |
| 十一月 | 下越地区特別支援教育研究大会 新発田・北蒲・胎内大会(二十七日) |
| 二月 | 第二回理事会 |
| 三月 | 会報98号発行 |

平成二十年度

主な行事予定

平成二十年度 県特支研役員

〈敬称略〉

会 長

吉田 俊雄 (新潟市立養護)

副会長

西山 康春 (南本町小)

金子 周一 (三条小)

松浦 敏夫 (県立高田養護)

理 事

高澤 誠一 (新井中央小)

小暮 哲郎 (大洲小)

笠井 博 (千手小)

小野塚正春 (北辰小)

菱田 由美 (鏡淵小)

坂井 潔 (小針小)

小林 満 (石山中)

成田武比古 (外ヶ輪小)

長谷川義郎 (新津第一小)

佐野 一彦 (県立村上養護)

青木 仁 (県立小出養護)

藤村 修

(新大附属特別支援学校)

会計監査

高橋 守 (糸魚川小)

池田 清治 (新町小)

高橋 信 (燕東小)

平成二十年度 県特支研評議委員

〈敬称略〉

上越地区

関谷 廣一 (大潟町小)

上越地区

辻川 英夫 (清里中)

柏崎・刈羽地区

山崎 光隆 (松浜中)

柏崎・刈羽地区

吉田 正宣 (新道小)

糸魚川地区

竹田 正光 (大和川小)

妙高地区

藤本 保久 (斐太北小)

長岡・三島地区

佐藤 正則 (栖吉小)

長岡・三島地区

西脇 雅信 (大島中)

三条地区

嘉藤 俊信 (第一中)

三条地区

古畑 伸一 (長沢小)

燕・弥彦地区

桑原 幸男 (燕西小)

加茂・南蒲地区

吉樂 悟 (田上小)

見附地区

西方 哲也 (今町小)

小千谷地区

福島 正 (小千谷中)

十日町・中魚地区

石塚 彰雄 (川治小)

十日町・中魚地区

桑原 正 (津南小)

魚沼・川口地区

笠原 正 (広神西小)

南魚沼地区

保坂 吉俊 (湯沢中)

新潟市北区

早川 幹雄 (葛塚東小)

新潟市東区

駿河 仁志 (木戸小)

新潟市中央区

菊池 秀夫 (紫竹山小)

新潟市江南区

遠藤 宜秀 (亀田中)

新潟市秋葉区

本多 政行 (阿賀小)

新潟市南区

山崎 秀一 (庄瀬小)

新潟市西区

古瀬元由貴 (立仏小)

新潟市西蒲区

本間 正巳 (巻南小)

新発田・北蒲

前田 清 (猿橋小)

新発田・北蒲

佐藤 秀夫 (蓮野小)

胎内地区

藤田 哲也 (きのと小)

村上・岩船地区 (小)

本間 直也 (関小)

村上・岩船地区 (中)

工藤ひとし (朝日中)

五泉地区

塩谷新一郎 (五泉北中)

阿賀野地区

保科 徳久 (京ヶ瀬小)

東蒲原地区

清野 一男 (上条小)

佐渡地区 (小)

松田 正実 (加茂小)

佐渡地区 (中)

佐々木卓郎 (真野中)

特別支援教育諸学校 (視)

小西 明 (県立新潟盲)

特別支援教育諸学校 (聴)

山田由美子 (県立新潟聾)

特別支援教育諸学校 (病)

竹内淳一郎 (県立吉田養護)

特別支援教育諸学校 (肢体)

赤松 雅史 (県立上越養護)

特別支援教育諸学校 (知)

高橋 晃 (市立見附養護)

平成二十年度 県特支研事務局

事務局長

吉原 修英 (鏡淵小)

事務局

風間 昌幸 (鏡淵小)

今井 信郎 (鏡淵小)

長谷川弘子 (鏡淵小)

佐藤 昇 (鏡淵小)

時田 展子 (鏡淵小)

平成20年度 各研究大会

◆上越大会◆

上越地区特別支援教育研究大会 上越市南部大会

【大会主題】

「二人一人の教育的ニーズに応じる
地域ぐるみの支援を求めて」

【日時】

8月22日(金)
午後1時～午後4時40分

【会場】

リージョンプラザ上越
上越市教育プラザ

【分科会】

- 第一分科会 交流及び共同学習と園・小・中
特別支援学校との連携
- 第二分科会 保健室の機能と養護教諭の役割
- 第三分科会 社会参加と進路指導
- 第四分科会 自立活動
- 第五分科会 発達障がいへの支援
- 第六分科会 保護者・行政と障がい福祉

【講演】

上越大学准教授 河合 康 様

◆中越大会◆

中越地区特別支援教育研究大会 長岡大会

【大会主題】

「二人一人に寄り添い、
豊かに生きる力をはぐくもう」

【日時】

11月20日(木)
午後1時～午後4時40分

【会場】

長岡市栃尾産業交流センター
おりなす 他

【分科会】

- 第一分科会 小学校・小学部、知・情部会
- 第二分科会 中学校・中学部、知・情部会
- 第三分科会 言語・難聴部会
- 第四分科会 病虚弱・肢体不自由、重複部会
- 第五分科会 LD・ADHD児、高機能自閉症部会
- 第六分科会 育成会(保護者の会)部会

【講演】

新潟大学准教授 長澤 正樹 様

◆下越大会◆

下越地区特別支援教育研究大会 新発田・北蒲・胎内大会

【大会主題】

「二人一人が豊かに生きるための
支援の在り方を求めて」

【日時】

11月27日(木)
午後1時20分～午後4時40分

【会場】

聖籠町町民会館
聖籠町立聖籠中学校
聖籠町立山倉小学校

【分科会】

- 第一分科会 学校・学級経営部会
- 第二分科会 知的障がい部会
- 第三分科会 情緒障がい部会
- 第四分科会 発達障がい部会
- 第五分科会 言語・難聴部会
- 第六分科会 親の会部会

【全体指導】

新潟県教育庁義務教育課 副参事
特別支援教育係長 佐藤 昇誠 様

平成20年度各部の研修

知的障害部

新潟県特別支援教育研究会
開催予定

詳細については、9月以降に
決定

情緒障害部

新潟県特別支援教育研究会
情緒障害部担当者研修会

日時

8月8日(金)

午後1時～午後4時

(総会・講演会)

会場

新潟市県民会館小ホール

講師

岡山県倉敷市立東中学

教諭 西 幸代 様

言語難聴部

新潟県特別支援教育研究会
言語・難聴部総会

日時

7月30日(水)

午後1時30分～

(総会・講演会)

会場

長岡市中央図書館

講師

県立黒川病院

医師 稲月まどか 様

病虚弱・肢体不自由部会

研修内容

全会員を対象として、療育施設や養護学校を見学し、専門家から指導法に関し、指導・助言をいただく。

日時

10月15日(水)

会場

はまぐみ小児療育センター
県立はまぐみ養護学校

平成19年度 全特連功労者表彰

◆全特連功労者表彰◆

前 新潟市立養護学校長

松原 誠 様

(全国大会佐賀大会にて)

今年度開催される 全特連主催研究大会

◆全国大会・京都市大会◆

【大会主題】

「きょうを豊かに生き、あす
に向かって豊かな生活をおく
るために」市民ぐるみ・地
域ぐるみの特別支援教育の創
造と展開」

【期 日】

10月29日(水)

～31日(金)

【開催地】

京都會館 他

【分科会】

詳細は第二次案内をご覧ください
さい

【講演会】

演題「二年目を迎えた特別支
援教育と発達障害への
教育的支援」

講師

大阪教育大学名誉教授

大阪医科大学LDセンター顧問

武田 契一 様

◆関ブ口群馬大会◆

【大会主題】

「一人一人が豊かに生きるた
めの特別支援教育の創造」

【期 日】

8月5日(火)

【会 場】

〔全体会〕笠懸野文化ホール
〔分科会〕みどり市笠懸公民館
他

【本県大会派遣役員】

○第3分科会

「国語、算数等の教科学習」

提案発表者 武田 守宏

月ヶ岡養護学校 教諭

司会者 渡辺 信子

月ヶ岡養護学校 教諭

助言者 高橋 晃

見附養護学校 校長

○第12分科会

「高等部教育」

提案発表者 石畑 健一

高等養護学校 教諭

司会者 中澤 圭司

長岡市立養護学校 教諭

助言者 青木 仁

小出養護学校 校長

